

LAKPAKPO

青年海外協力隊
ベナン共和国通信
2023年10月号③



ひとりぐ 一人暮らしスタート！



Bonjour！6年生の皆さん、修学旅行からおかえりなさい！ホームページをこまめに確認し、京都と奈良へ想いを馳せていました。早いもので卒業まで残り半年ですね。これから皆さんの成長と頑張りを遠くから応援しています。5年生の皆さん、野外学習いってらっしゃい！楽しみながらたくさんのお話を聞きますように。



さて、私は9月5日にベナンの田舎に引越しをし、一人暮らしが始まりました。私が住んでいる場所の言葉である「ナゴ語」の授業を終えて、9月27日からは小学校で活動しています。フランス語がなかなか伝わらず苦労していますが、ベナンの先生や子どもたちのために自分にできることを精一杯頑張ります！

「ナゴ語」ってどんな言葉？

ベナンでは53の現地語（その土地に住む人が話す言葉）があります。私の住むケトゥ市では、①フランス語 ②ナゴ語 ③フォン語 ④ヨルバ語を話す人が多いです。

今日はナゴ語を少しご紹介！英語と同じアルファベット表記ですが、少し違う文字もあります。分かるかな？4番目は自分の名前に置き換えて、発音してみてくださいね！

- * おはよう → エカー口 (Ekaro)
- * 元気～？ → シェ オジ ダーダー (Se oji dada)
- * ありがとう → エッシェウン (Eseun)
- * 私の名前はなおです → オルコ ミニ ナオ (Oru ko mini Nao)

みんなの意見を教えて！「ゴミ問題」

ベナンには至る所にたくさんのゴミが落ちています。ベナンだけでなく、世界中の多くの国が同じような問題を抱えています。なぜなら「ゴミ箱もゴミ処理場もないから」です。昔は日本もベナンもプラスチックがありませんでした。プラスチックが使われるようになった今、日本は正しい方法でゴミの処理をしています。その一方で、とても悲しいことにベナン(多くの国)にはその技術がまだありません。ではベナン人はどのようにゴミを処理しているのでしょうか？

①そのままポイ捨て

至る所にゴミ捨て場として使われている草むらや空き地があります。道路にもたくさんのゴミが…。私は土に還る野菜や果物の皮のみ家の前の草むらに捨てています。しかし、自分の畑にさえもプラスチックをそのまま捨てる農家さんもいて、「プラスチックのごみを捨てる＝環境に悪い」という知識がない人が大勢います。日本人にとっての「当たり前」は世界では「当たり前」ではありません。

②燃やしてからポイ捨て

「燃やせないゴミ」を燃やしてしまうと人にも環境にも悪い気体が発生します。その知識がない人が多く、病気になってしてしまう人もいます。

③ゴミ収集車

ベナンにはゴミ収集車があります。私の住む街は月に2回、電話をしてお金を払えばゴミを回収してくれますが、このゴミもただ埋められるだけ。そのままポイ捨てするのと変わりはありません。そして、ゴミ収集車が来るのは平日の昼間。私が小学校で活動をしている時間のため、ゴミ収集車を利用することができず困っています…。

ゴミ処理の技術がないのが原因なので、ポイ捨てをしているベナン人が悪いわけではありません。

しかし、ゴミの捨て方は今の大きな悩みです。なるべくプラスチックのゴミを出さないように生活していますが、それでもゴミは溜まっていきます。今は自宅でゴミを袋に入れていますが、一年中暑く、ゴキブリやネズミがたくさんいるベナンでそれを続けていくわけにもいきません。皆さんならどうしますか？一度考えてみてください。



↑教育委員会の敷地さえ…